

指標名: ICU入室患者の褥瘡発生率

背景

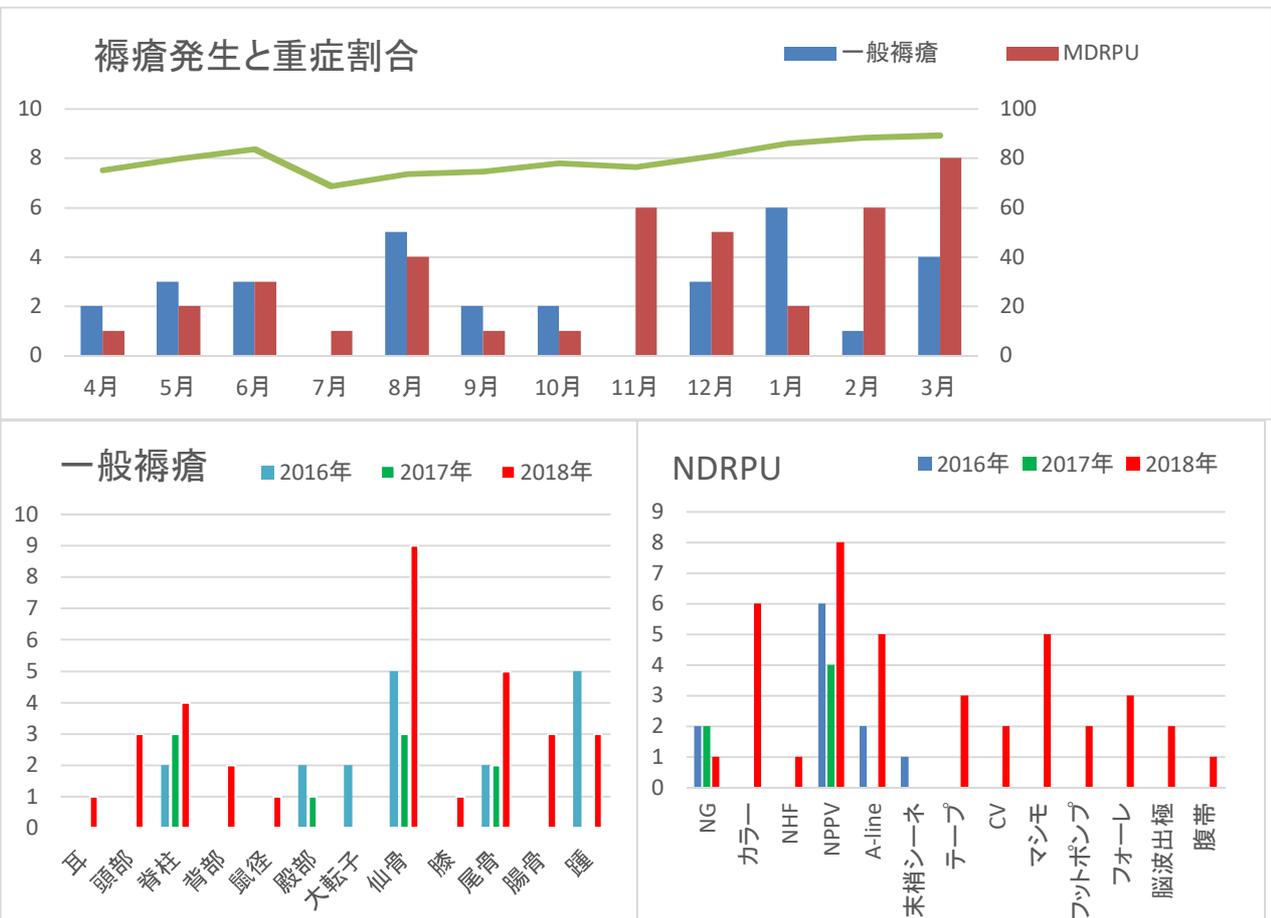
褥瘡は皮膚の局所的な圧迫や摩擦、湿潤、低栄養などによって発生し、皮膚の発赤から始まり悪化すると潰瘍形成に至り、病状回復を遅らせることになる。ICUへ入室する患者の多くは、循環不全、重症感染症、栄養状態不良、医療機器の使用により褥瘡発生リスクが高い。そこでICUでは、皮膚の観察、摩擦を加えない定期的な体位交換、医療機器による圧迫の解除、栄養管理を行うことで褥瘡予防を行っている。昨年度は、全体の64%が褥瘡深達度d1にとどめることができていたが、長期入院患者においては深達度d2以上の褥瘡が多く発生していた。そこで今年度はスタッフの観察力の意識向上と、正しい評価が行えるよう取り組みが必要であると課題をあげていた。

データの定義

分子
褥瘡発生患者数
(ただし、持ち込み褥瘡は除く)
分母
ICU入院実患者数

2018年度のデータ

ICU実患者数912名。褥瘡発生件数は69件(1患者あたり複数褥瘡発生あるため患者数とは異なる)7.56%。うち、治療上安静臥床に伴い発生したと思われる褥瘡は31件(うち発生部位:仙骨9件、尾骨5件、脊柱4件、腸骨3件、踵3件、背部2件、頭部2件、耳1件、鼠径1件、膝1件、臀部・大転子0件)であった。医療関連機器圧迫損傷が38件(うち該当する医療関連機器:NPPV8件、頸椎カラー6件、A-line固定5件、酸素モニター5件、膀胱留置カテーテル固定3件、CV固定2件、フットポンプ2件、脳波電極2件、NG固定1件、腹帯1件、NHF1件)であった。褥瘡深達度は、d1 37件、d2 32件、d3 0件であった。



参考データ

2015年度ICU・救命救急病棟褥瘡発生率2.94% 2004人中59件(内医療関連褥瘡34件)(2015年1月～12月)

2016年度ICU・救命救急病棟褥瘡発生率1.72% 5569人中39件(内医療関連褥瘡18件)(2016年4月～2017年3月)

2018年度IC褥瘡発生率7.78% 912人中71件(内医療機器関連褥瘡40件)(2018年4月～2019年3月)

評価

今年度は、褥瘡の知識や観察力向上のために、褥瘡機序やスキニアの勉強会を実施した。昨年度も褥瘡発生が多かったため、日々の褥瘡予防の方法が正しいか、院内の褥瘡対策チームとは別に、ICUスタッフとWOC認定看護師と共に病棟ラウンドを実施した。また、褥瘡発生の現状を毎月病棟全体へ配信したことで、褥瘡に対する意識の向上につながったと考える。意識が向上したことにより、褥瘡発生報告が増加した。ICUにおける褥瘡発生の原因として、循環不全、全身浮腫、皮膚の脆弱等があげられる。循環不全の患者が増加し、重症度が高くなり褥瘡増加につながっている。昨年度は、循環不全の小児が、成人で使用している体圧分散寝具使用しての長期臥床により、褥瘡発生が多かったため、日齢や体重に合わせ、スポンジ素材の体圧分散寝具へ変更した。今年度小児の体圧分散寝具を変更したため、褥瘡発生変化を追っていく。

重症患者ほど褥瘡予防意識が高く、人工心肺管理等の絶対安静が必要な患者の褥瘡発生報告はなかった。自力体位変換ができる患者や意識のある患者に対し、ケアや観察が不足し褥瘡発生に繋がっていた。観察力やケアの統一がされるよう働きかけが必要である。動けない患者や、体位変換が十分にできない患者に対し、背抜きグローブの導入をした。スタッフ周知が不十分であるため、使用方法など伝えていく。

MDRPUの発生の背景として、NPPV装着に関しては、マニュアル通りに皮膚保護剤の貼付をしているが、擦れやリーク回避のためマスクを強く締めすぎてしまい、過度な圧迫が原因であった。NPPV使用時、鼻根骨に褥瘡発生が多いため、鼻根骨の皮膚保護剤の使用を工夫した。頰椎カラー装着時は、あらかじめ皮膚保護剤の貼付やガーゼを挟むなど、褥瘡予防に努める様になったが、保護が不十分な箇所には褥瘡が発生してしまった。重症患者に必要なA-lineの固定テープは長期間使用していることが多く、テープの巻き直しやフィルム材を剥がして皮膚接触部の観察ができていなかった。術後は浮腫が強くなり、固定テープの巻き直しが頻回に必要な状態である。現在は勤務交代時テープが皮膚にくい込んでいないかを確認し、必要であればまき直すよう伝えている。しかし、必要な場面でもできていない事が多い。今までの管理方法では褥瘡発生が低下しないため、マニュアルや予防ケア方法を見直し、病棟に周知させ実施していく。また、理学療法士と連携し良肢位の保持や有効的な体位変換実施のため勉強会の実施をする。早期からNST介入をし、栄養管理をすることで褥瘡発生率を減らしていく。

参考文献

日本褥瘡学会編：褥瘡予防・管理ガイドライン、株式会社照林社、2009年